



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

世界No.1の総合アルミ板事業へ

一板事業 第4次中期経営計画

専務執行役員 板事業本部長

橋本 圭造

2024年5月28日

株式会社UACJ



板事業本部の取組み



第3次中期経営計画の振り返り

基本方針

重点方針① 構造改革の完遂

- ・深谷下工程の停止
- ・大型投資の収益化

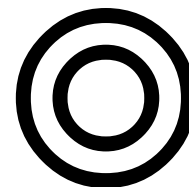
重点方針② 成長への基盤の 強化

- ・3極連携でグローバル顧客向け缶材販売強化
- ・TAAの45万トン生産体制確立
- ・UATHの32万トン+ α 生産体制構築

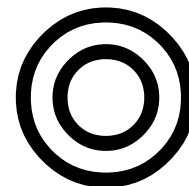
重点方針③ 軽やかな世界の 実現への貢献

- ・リサイクル原料の使用拡大
- ・アルミ製品の環境負荷低減

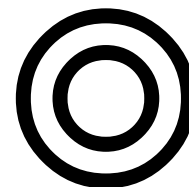
評価



- ・深谷製造所の下工程を停止(23年3月完了)
- ・大型投資の立ち上げ、収益化
 - UATH3期設備の立ち上げ(21年32万トン達成)
 - TAA新設冷間圧延機(20年6月稼働)の収益化
 - 福井自動車パネル材用連続仕上ライン(20年10月稼働)の収益化



- ・グローバルにて缶材需要を取り込み(2023年度61万t)
- ・TAA45万トン生産体制の確立
- ・UATH32万トン+ α 生産体制の確立



- ・アルミ缶の水平リサイクルの推進
 - 東洋製罐様との業務提携
 - 山一金属様とのJV設立
 - UATHにおけるASEAN域のクローズドリサイクル確立
- ・福井およびラヨン製造所のASI認証取得

世界No.1の総合アルミ板事業を目指す

環境負荷低減・社会課題解決を通じて付加価値を創出する**世界No.1の総合アルミ板事業**へ

幅広い品種 × 地域をカバーする「総合力」

総合力 = 品種(用途) × 地域の幅広さ

第4次中計の重点分野

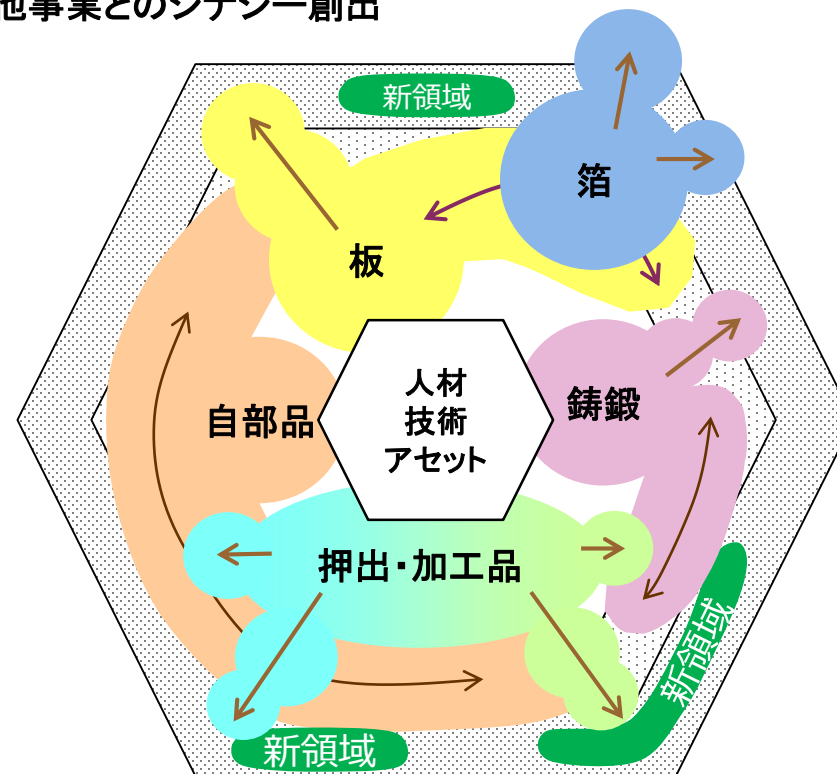
		地域軸						
		日本	中国	東南アジア インド	中東 アフリカ 豪州	欧州	北米	中南米
品種軸	缶	UACJ		UATH	UATH	UACJ	TAA	UATH
	自動車パネル	UACJ						
	自熱交	UACJ	UDSG	UATH		UEHEM	UATH	UATH
	電池箔	UACJ	UDSG				UACJ	
	フィン	UACJ		UATH		UATH UACJ	UATH	UATH
	機能材	UACJ	UACJ	UACJ			UACJ	
	厚板	UACJ	UACJ	UACJ		UACJ	UACJ	

UEHEM:UACJ ELVAL HEAT EXCHANGER MATERIALS GmbH

UDSG:優艾希杰東陽光(上海)鋁材銷售有限公司

他事業とのシナジーを創出する「総合力」

総合力 = 他事業とのシナジー創出



世界No.1の総合アルミ板事業

付加価値の創出

研究・商品開発力

環境負荷低減

多様な生產品種

幅広い販売地域

三極体制

幅広い品種×地域をカバーする総合力

新領域

箔

自部品

素材+α

板

鍛

押出

加工品

ソリューション
提供

ワンストップ

他事業とのシナジー創出する総合力

顧客基盤

生産技術・ものづくり

品質

アルミ特性 UACJウェイ

信頼・歴史

多様性

安定した収益の確保 & 付加価値の創出を通じて世界No.1の総合アルミ板事業に

量から質への転換

- 収益性、資産効率性の向上
 - 販売ポートフォリオの最適化
 - 販売エリアの選択と拡大
 - 新規開発の強化
- 重点分野の需要増減に柔軟対応できる生産体制

モノからコトへの転換

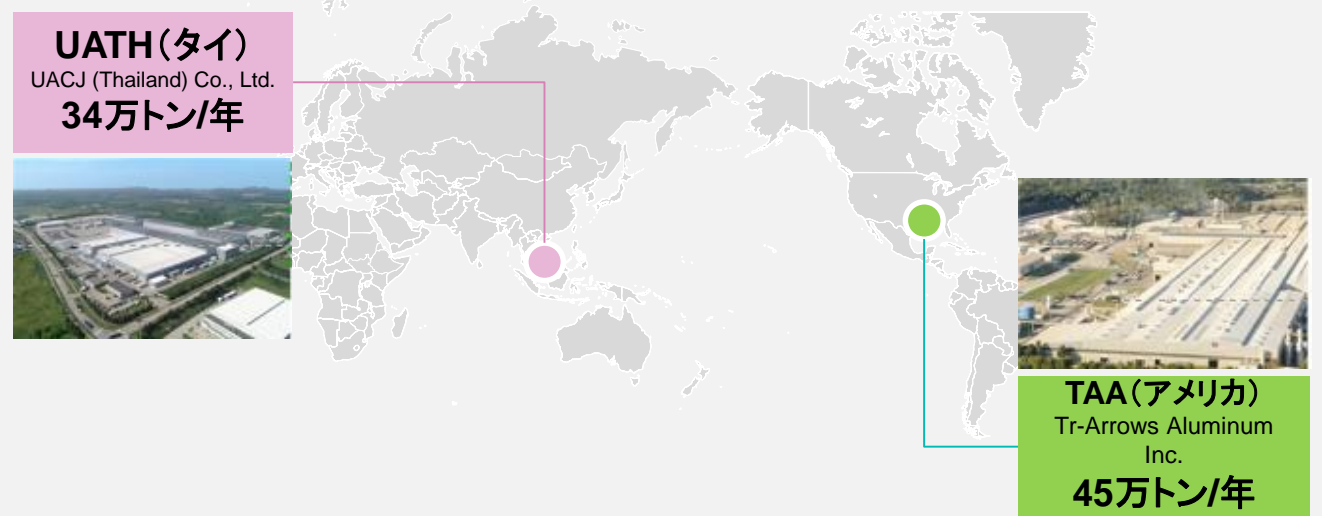
- 環境課題解決型ソリューション (EcoEnd™等) の提供
- CO₂削減、水平リサイクル推進
- ALmitas+ SMARTマスバランス (第三者保証による環境価値の提供)

三極体制の進化

- 三極連携による顧客対応力強化
- 国内とUACJの二極互換性を拡大

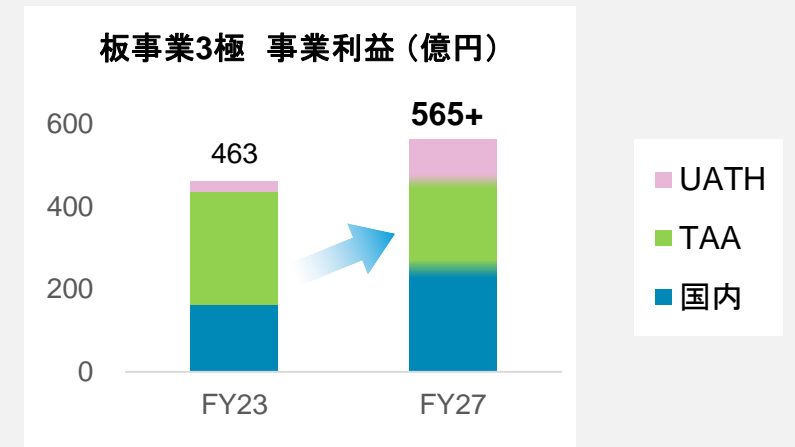
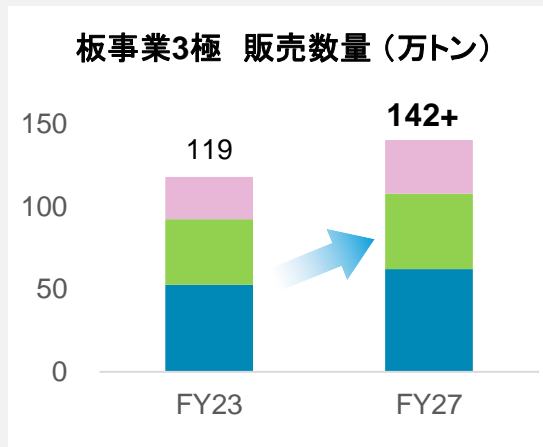
板事業本部 三極体制の進化

従来の三極連携に加え、UACJとUATHにおける二極互換性の強化を図る



生産能力 **150**万トン体制に

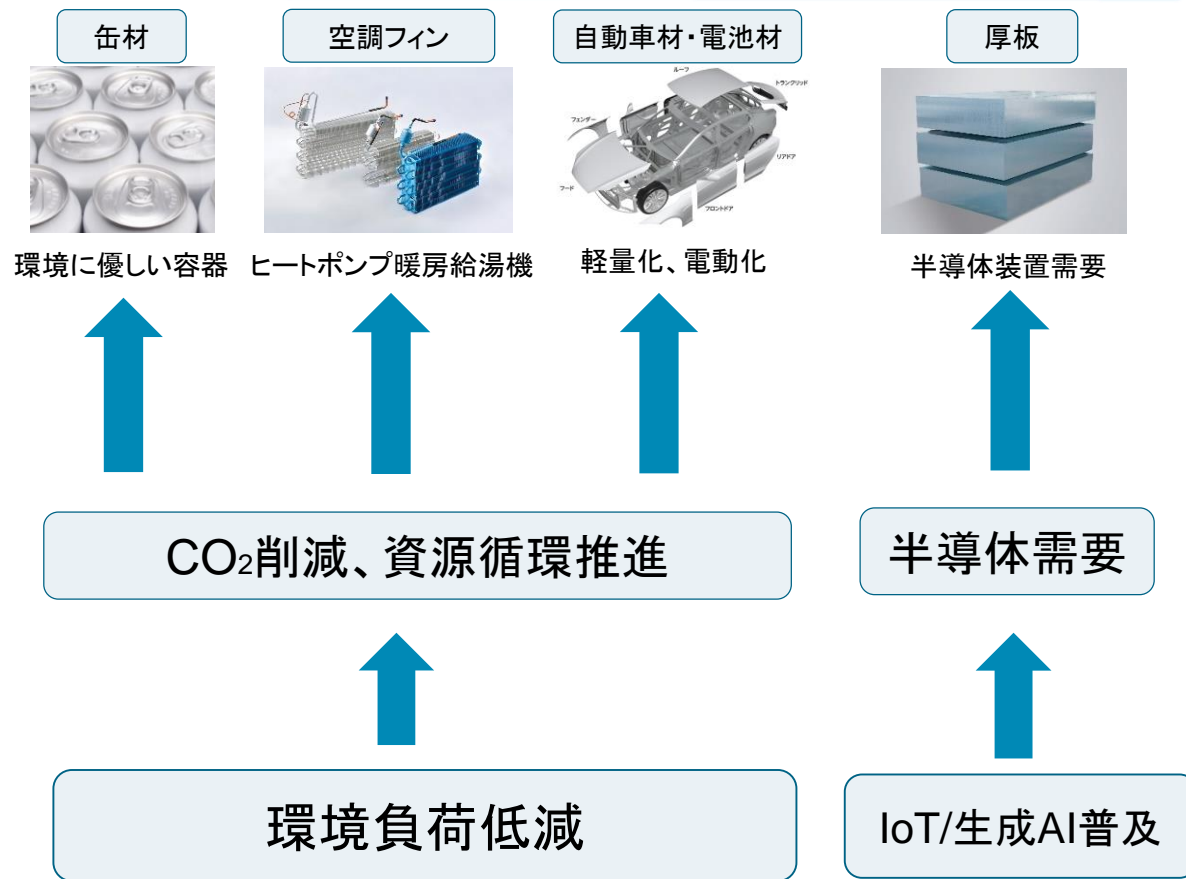
販売 119万トン⇒**142**万トン



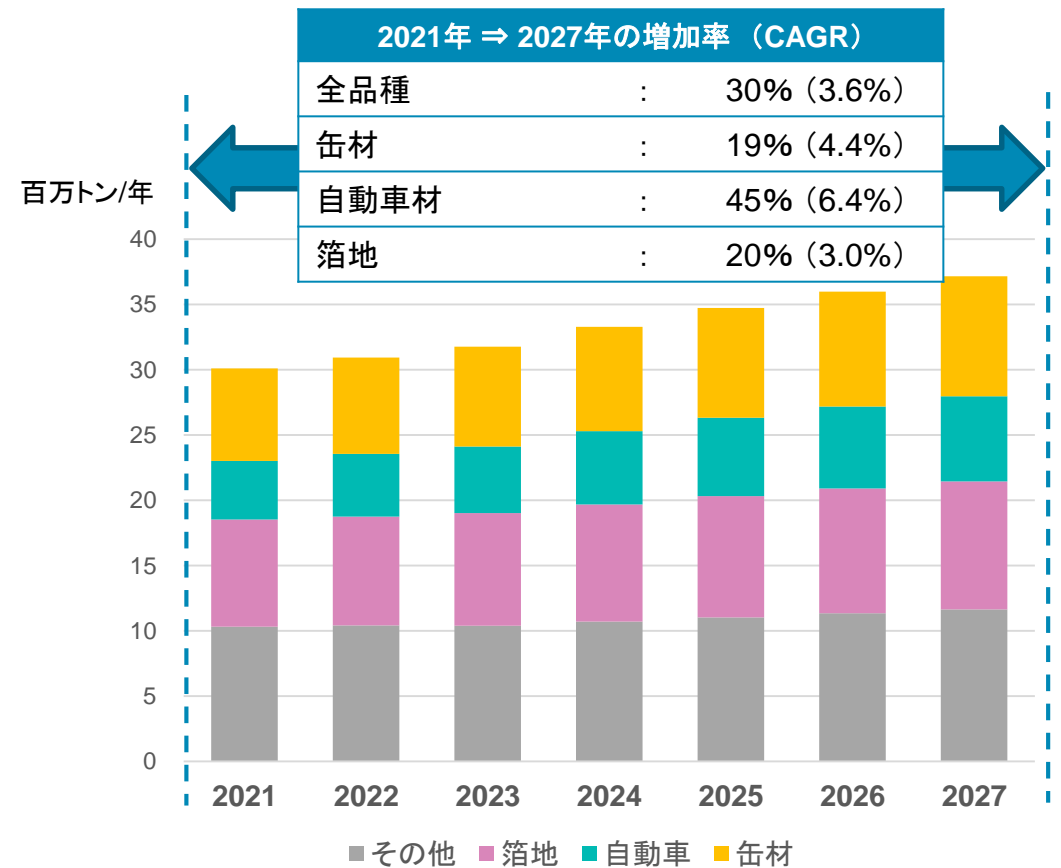
アルミ板のグローバル需要見通し

グローバルでアルミ板の需要は年々増加

アルミ板需要増加の背景



アルミ板のグローバル需要見通し



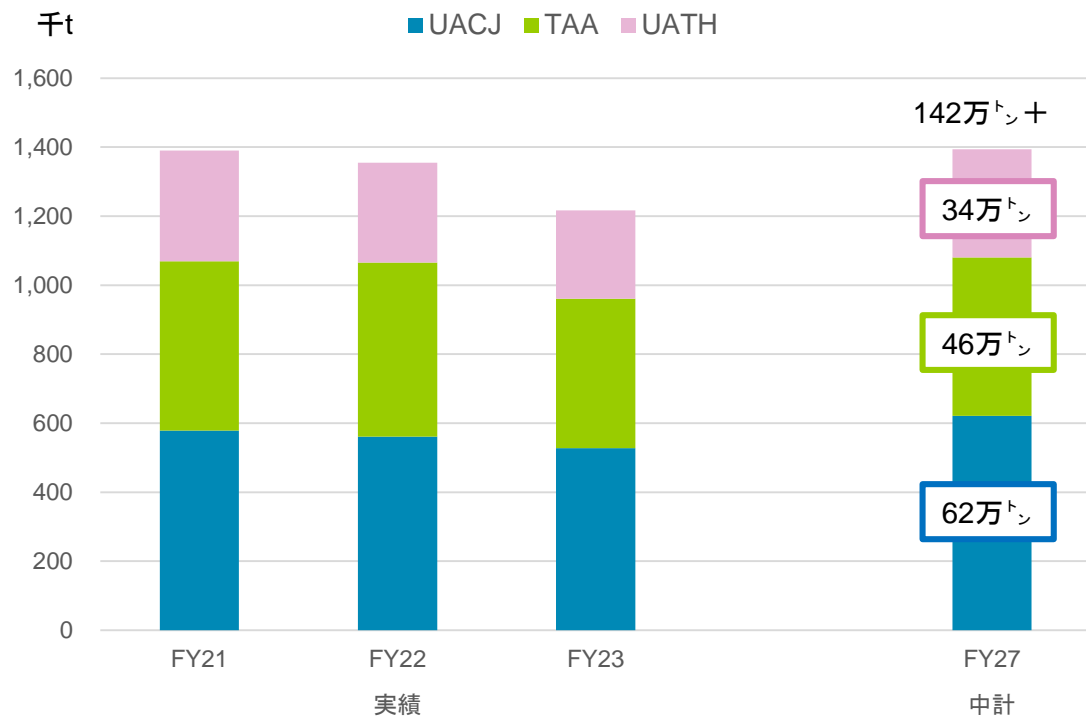
板事業全体の数量・損益見通し



板事業3極合計の販売量と事業利益の推移

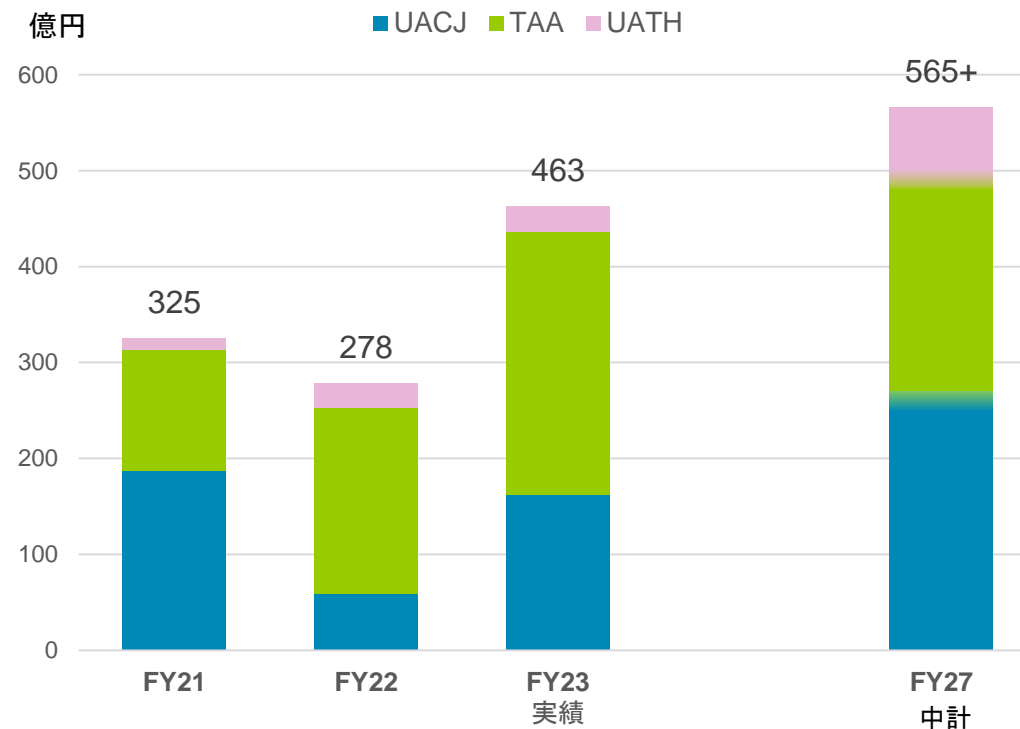
堅調な需要を背景に、板事業3極の販売量・事業利益を拡大

3極の販売量推移



2027年度 142万トン

3極の事業利益推移



2027年度 600億円(板事業全体)+

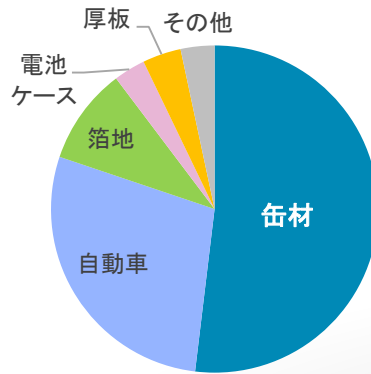
国内3製造所、UATH、TAAの強み

強固な顧客基盤、ニーズに合わせた製品設計力、生産能力を生かした事業展開

福井製造所

缶材・自動車材を中心に
圧倒的な競争力で、品質・
納期・サービスを提供する

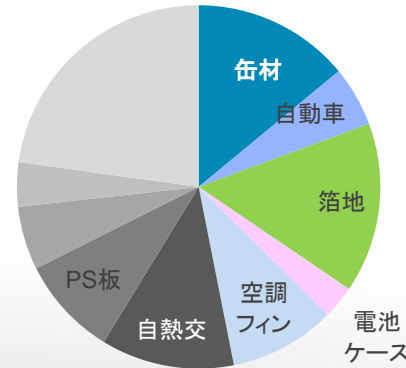
2023年度 30万トン/年



名古屋製造所

多品種・多用途への
対応力で、お客様の
新たな価値創造に貢献
新分野開拓に注力

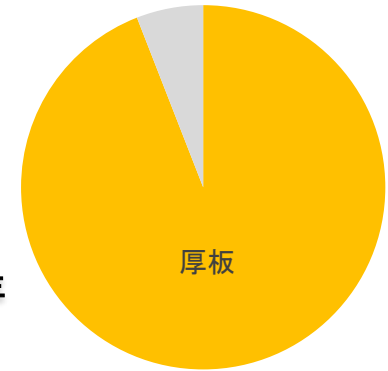
2023年度 27万トン/年



深谷製造所

先進の技術で厚板の
付加価値を創造
半導体需要増加に対応

2023年度 5万トン/年

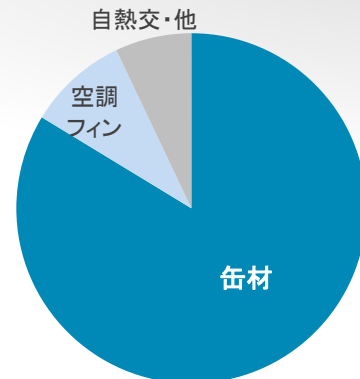


各拠点の特色を生かした供給体制

UATH

缶材に加え、空調材、
自動車熱交材他の
グローバル供給拠点

2023年度 34万トン/年



TAA

缶材中心の米国拠点
成長する缶材需要を捕捉

2023年度 49万トン/年



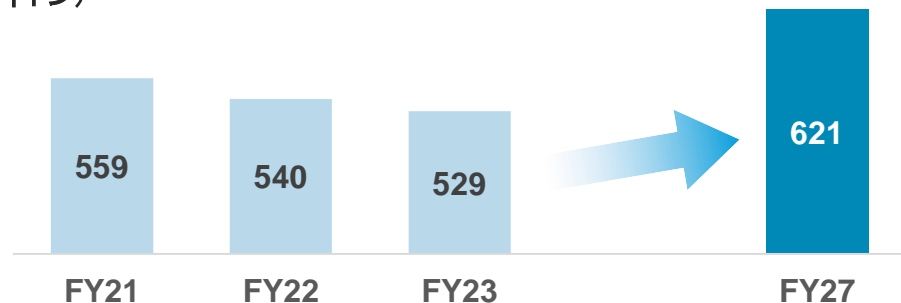
国内板事業の取組み



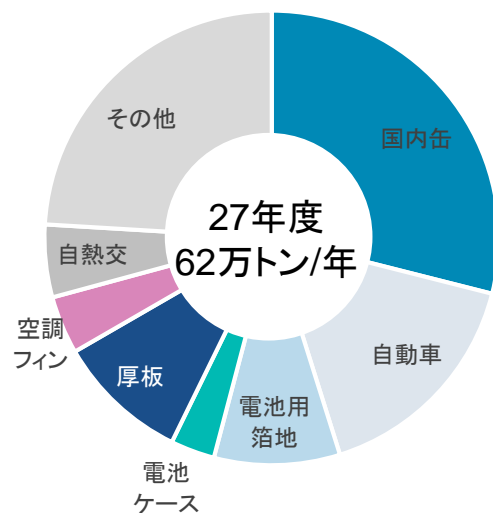
第4次中期経営計画 販売計画

販売数量 (国内)

(千トン)



2027年度の販売品種構成



分野	方針	販売量
缶材	・リサイクル推進により付加価値を創出、缶需要喚起	→
箔地	・顧客との連携を強化、電池箔向け販売拡大	↗
自動車材	ボディパネル ・販売先、販売アイテムの拡大により収益安定化 ・環境負荷低減などにより付加価値向上	↗
	熱交材 ・製品構成の見直し、リサイクル対応の強化	→
厚板	・半導体需要の回復、新エネルギー運搬用途への拡販	↗
その他一般材	空調用フィン等 ・製品構成の見直し、日本・タイの拠点間連携強化	↗

需要分野動向 【缶材/自動車】

環境負荷低減を推進し国内基盤をより強固なものへ

缶材

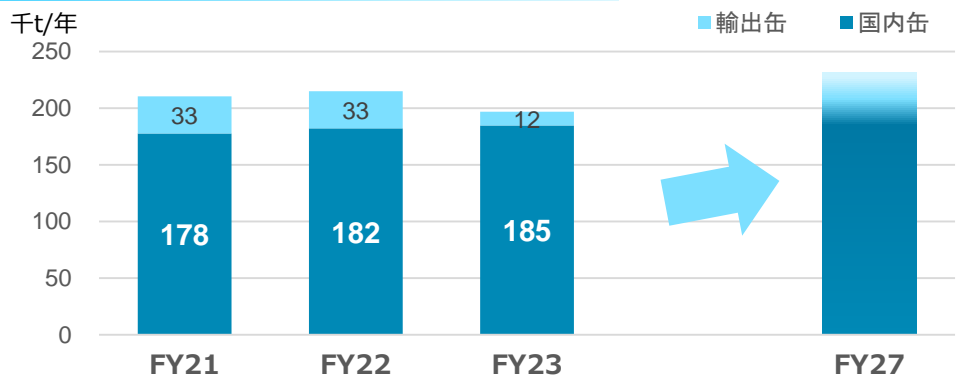
- 国内市場は製缶メーカーとの強固な関係性を軸に数量を維持
- 需要が伸長する欧米市場に対して供給を拡大検討

日本国内のアルミ缶需要トレンド

分野	トレンド
ビール類	人口減、健康志向による微減傾向
RTD	物価上昇によるビール類から低価格RTDへの流入もあり、数量は横ばい
清涼飲料	缶コーヒー減に伴う微減傾向

※ RTD: Ready to drink。缶チューハイ等。

当社販売量 (国内缶+輸出缶)



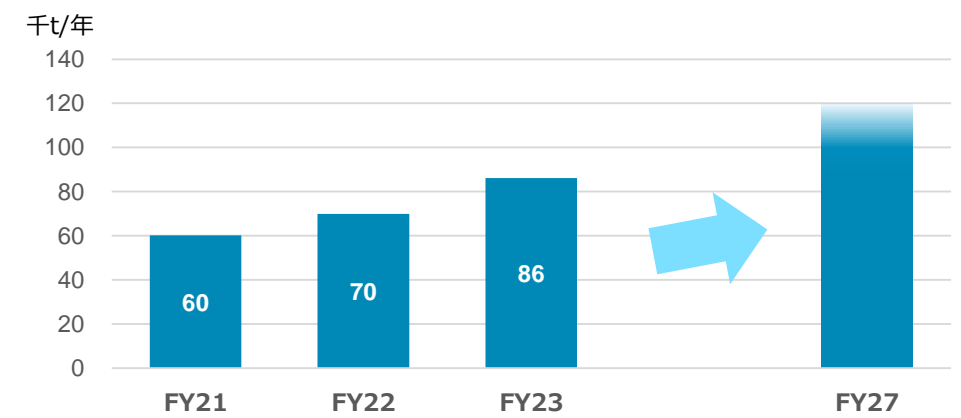
自動車材

- 電動化に伴う新規用途の開拓
- クローズドループリサイクルの拡大と環境対応材料の開発

日本生産台数のトレンド

国内生産台数は23年度450台から27年度510台へ増加
電動化の進展に伴い、バッテリー周りの需要の創出が見込まれる

当社販売量

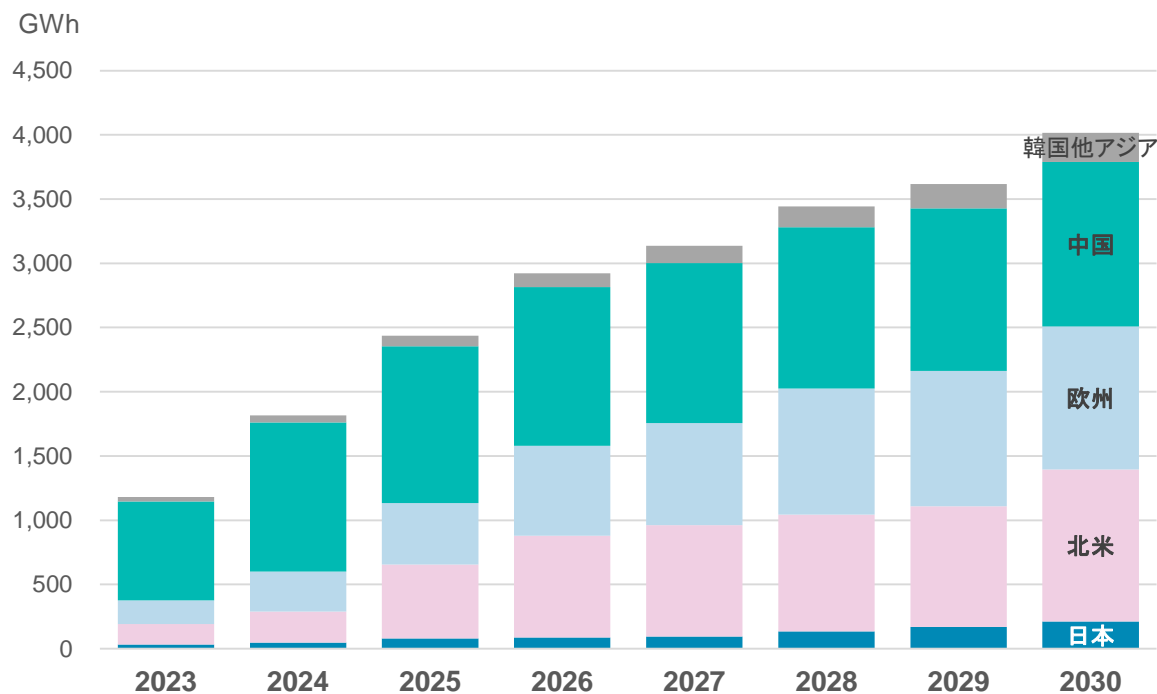


需要分野動向 【電池箔/電池ケース】

電池市場の拡大を捉え顧客の海外展開へ対応

電池市場

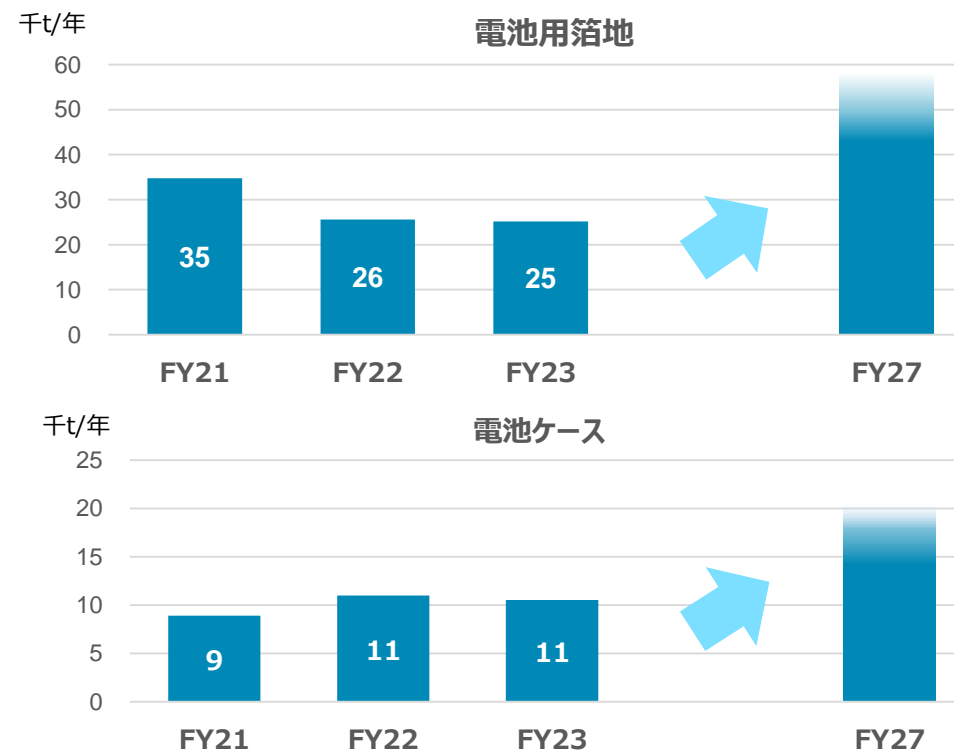
- 自動車の電動化に伴い電池市場は大きく拡大していく
- 高付加価値材料の要求が強い日本、欧米をターゲット市場とする



※ UACJ調べ

UACJ販売量

- 電池用箔地: 海外需要取り込みと収益性向上に注力
- 電池ケース: 国内電池メーカーの海外展開への対応に注力



需要分野【厚板/エアコンフィン】

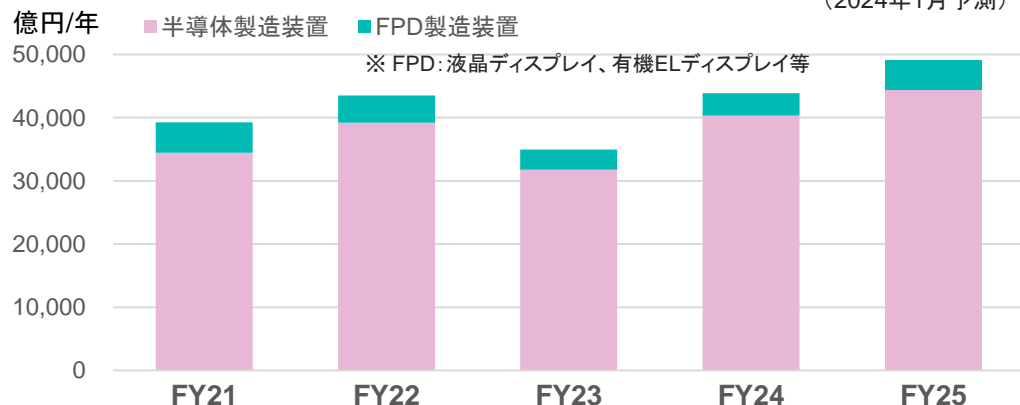
成長する国内外の需要を取り込み事業成長を目指す

厚板

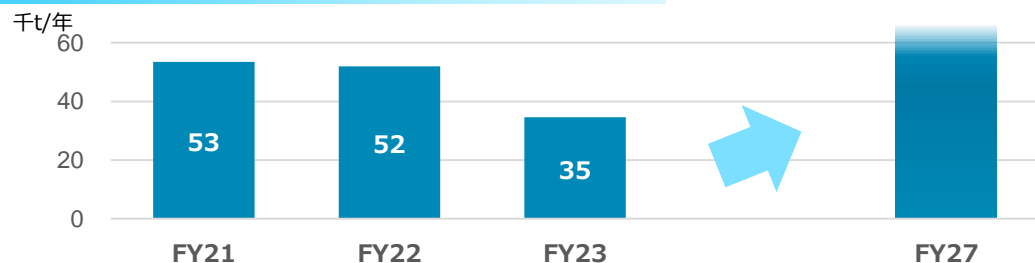
- 半導体製造装置向け厚板需要は23年度が底となり、徐々に回復
- 需要拡大に対応できる供給体制の確立

半導体・FPD製造装置需要予測

※出典：日本半導体製造装置協会
(2024年1月予測)



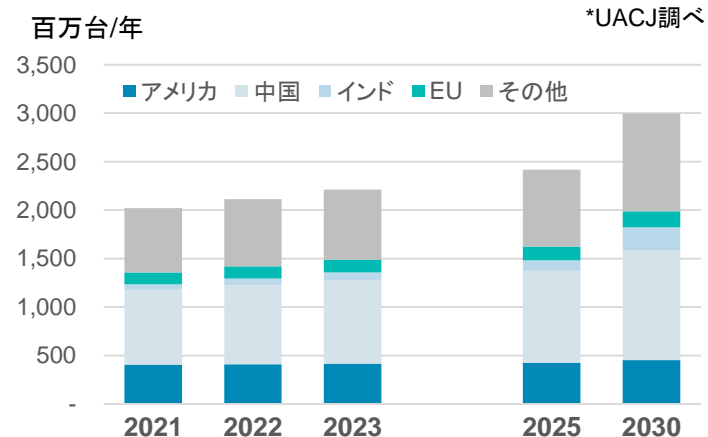
当社販売量



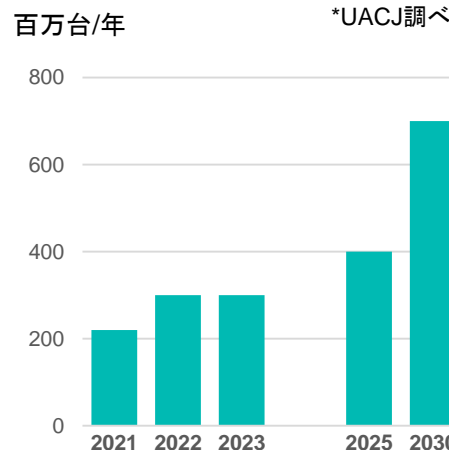
空調フィン

- 日本、タイの連携でグローバル市場に最適供給
- エアコンメーカーとのアルミ循環スキームの構築

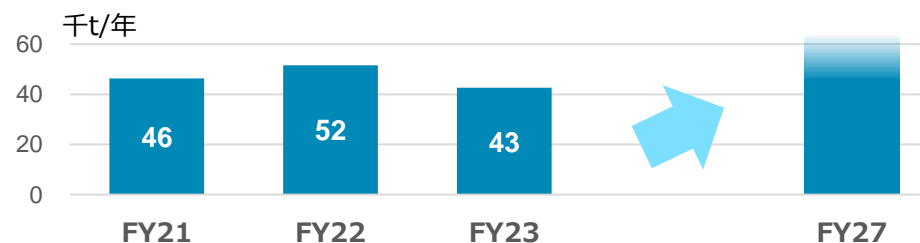
住宅用空調市場



欧州ヒートポンプ暖房給湯機市場



当社販売量 (UACJ,UATH合算)



環境負荷低減に向けた取り組み

アルミニウムの環境性能を最大限に活かし、環境負荷低減をグローバルで推進

ALmitas+ SMARTマスバランス

- ・グリーン原料(低炭素地金、リサイクル原料等)を用いた環境保証材「ALmitas+ SMARTマスバランス」を活用し、お客様の環境負荷低減の実現を推進中
- ・既に日産自動車様、積水樹脂プラメタル様が採用、他需要分野での採用も商談中

水平リサイクル推進

(缶材)

- ・東洋製罐様と共同開発した「EcoEnd™」*を開発
(缶蓋のリサイクル原料の使用量を拡大し、温室効果ガスを4割削減)
- ・山一金属様とUBC加工事業の合併会社を設立(福井製造所)し、溶解リサイクルシステムによるCan to Can推進
- ・UATHにてASEAN地域の水平リサイクル推進中(溶解炉新設、域内循環の推進)

缶材以外の分野でも、リサイクルに取り組んでいる



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界